

(4) 定点把握対象五類感染症の感染症別報告状況

ア インフルエンザ定点

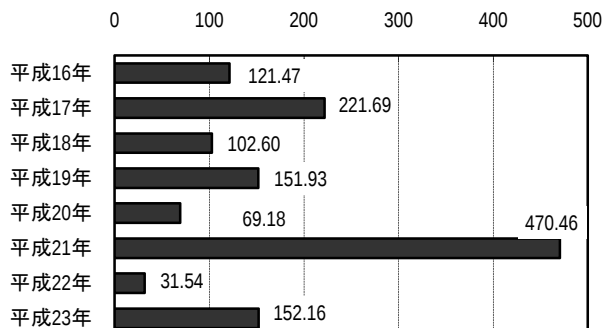
平成 23 年は、年間報告数 10,191 例、年間年間定点当たり報告数 152.16、年間定点当たり報告数の過去 5 年平均値（平成 18 年から平成 22 年まで。以下同じ。）との比 0.92、前年比 4.82 であった。

平成 22 年～平成 23 年シーズンの週別年間定点当たり報告数の推移をみると、平成 22 年第 50 週（12 月）に年間定点当たり報告数が 1 を超えて流行期に入り、平成 23 年第 4 週（1 月）に 20.73 のピークとなった後減少したが、3 月～4 月の 7 週間にわたって「5」前後で推移し、「1」を下回ったのは第 20 週（5 月）であった。

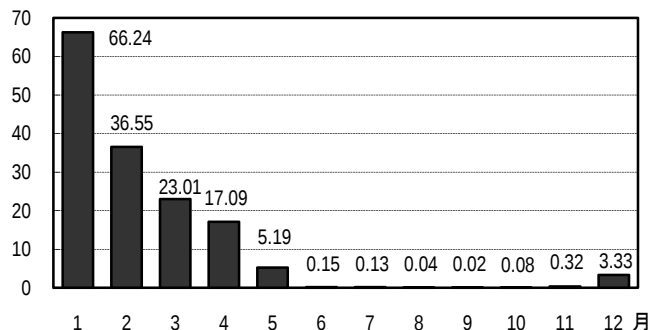
平成 23 年の年齢階級別年間定点当たり報告数の割合（以下「年齢階級別割合」という。）は、0～9 歳 45.4%、10～19 歳 19.6%、20～29 歳 11.9%、30～39 歳 10.9%、40 歳以上 12.3% であった。

詳細は、[患者情報 1](#)（平成 23 年のトピックス）「(1) イ 平成 23 年 インフルエンザのまとめ」を参照。

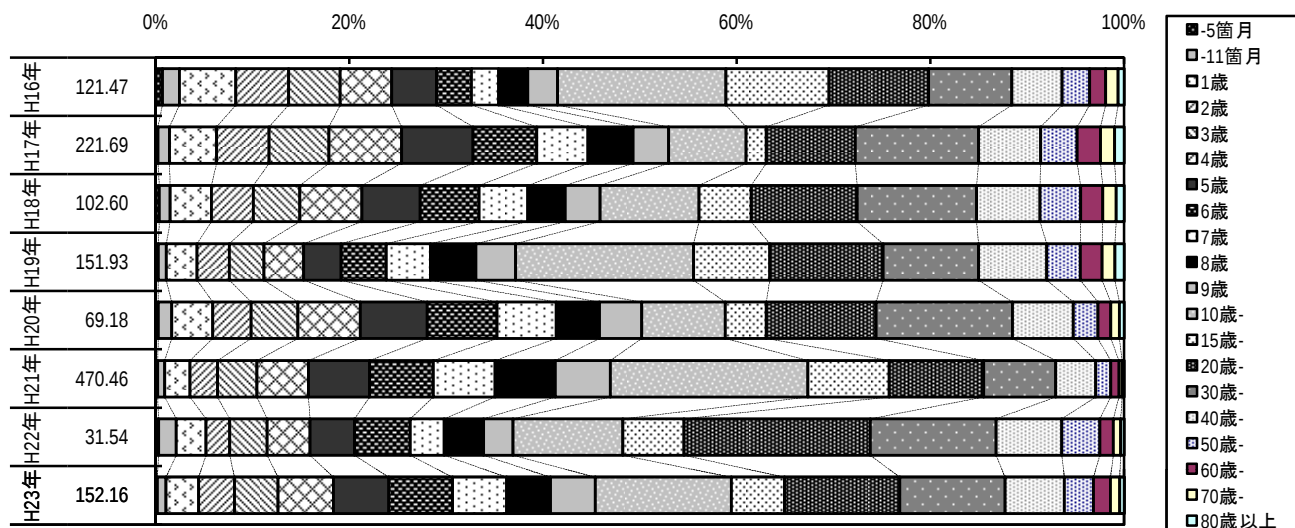
年次別定点当たり報告数



月別定点当たり報告数



年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



インフルエンザ

週別定点当たり報告数の推移

